



道の駅 若狭美浜はまびより グランドオープン！

今月号では、地域住民の憩いの場や交流の場となるはまびよりの概要や各店舗の紹介、はまびよりを核としたにぎわいゾーンの整備等について紹介します。

を進めてきました。今月号では、地域住民の憩いの場や交流の場となるはまびよりの概要や各店舗の紹介、はまびよりを核としたにぎわいゾーンの整備等について紹介します。

令和6年春の北陸新幹線敦賀開業等を見据え、町のにぎわい拠点施設として整備を進めてきた道の駅「若狭美浜はまびより」の関連工事が完了し、6月2日にグランドオープンしました。

わたしの夢、語ります

後藤 あかり さん 美浜東小学校 6年 (山上)

すてきな絵を描き続けたい

私は、絵を描くことが大好きです。大人になっても、絵と一緒に生きていきたいです。

私が尊敬している絵師さんは、当時の仕事をやめてまで漫画家になるという夢を目指したそうです。私もその絵師さんのように、自分が本当にやりたいことに向かってたくさん努力できる人になりたいです。

大人になったら、楽しいことだけでなく、辛いことや悲しいこともあると思います。それでも、どんなときでも、絵を好きでいたいし、絵を描き続けたいです。自分自身が満足するまで自分が好きなことを続けようと思っています。

将来、どんな仕事をしたいかは、まだ決まってないけど...



CONTENTS 目次 広報みはま2023年7月号

- 2 私の夢、語ります／表紙の写真／目次
- 3 道の駅若狭美浜はまびよりグランドオープン！
- 7 みはまシナプスプロジェクト
- 8 まちウォッチング
保育園行事「親子でおでかけ」／美浜ハートフル朝市が移転 他
- 9 美浜町のニュース
大塩友之氏瑞宝単光章を受賞／「チョイソコみはま」出発式
- 10 国民健康保険税の税率等の変更と軽減制度のお知らせ
- 11 耳川の基準水位変更/津波ハザードマップの活用方法 他
- 12 情報BOX
運転免許自主返納臨時出張所を開設/コラボほしまつりを開催 他
- 17 ふるさと昔よもやま話135／文芸欄
- 18 美浜の環境シリーズ158
- 19 美浜発電所の状況について
- 22 すこやか放送局
- 24 ハートフル広場
はじめてバスデー／町人さん／慶弔／人口の動き／広報クイズ
- 26 ぐらしのカレンダー

- 表紙の写真 -



6月3日に行われた美浜東小学校の体育大会です。

当日は、前日の雨が嘘のような快晴に恵まれ、この日まで練習を重ねてきた児童たちは、はつらつと競技や応援合戦等に取り組んでいました。

写真は、得点種目の中で最終種目となった色別対抗リレー。黄組のアンカー野口陵王さんが1位でゴールする瞬間です。

みんなの思いをのせたバトンを握りしめ、ゴールテープを切った野口さんの表情は、どこか安心したようにも見えました。

町民と観光客が集い交流する
地域づくりの拠点

はまびよりのコンセプトは「人々が集い、育み、美し美浜を体感できるにぎわいの交流拠点」です。施設は、鉄骨2階建てと木造平屋建ての建物と周辺の関連施設から構成されています。

はまびよりには、飲食や農林水産物直売所等の店舗のほかに、屋根付きのイベント広場「みはまプラザ」や多目的利用が可能な軒下空間「えんがわテラス」、キッチンカー等の乗り入れが可能な「海の広場」等を兼ね備え、町民が中心となつてにぎわいを

創出する拠点施設となつています。更に、トイレや道路情報提供機能、災害時の防災備蓄倉庫としての機能も有しています。

また、観光面では、JR美浜駅と連携し、令和6年春の北陸新幹線敦賀開業の効果を最大限に生かし、若狭路観光のゲートウェイ機能と周遊滞在型観光を促進するハブ機能を担います。

今後、はまびよりが、JR美浜駅からなびあすまでのにぎわいゾーン整備における核となり、ゾーン全体で、にぎわい空間の創出を図っていきます。

民間企業の経営能力と
技術力を活用した事業方式

はまびよりの整備には、PFI・BTO方式を採用しています。

この方式は、民間企業の経営能力や技術力（ノウハウ）を活用し、企業自らの資金で設計や建設等を実施するもので、完成後は町に施設の所有権を移転し、事業期間を通して同じ企業が維持管理・運営を行います。

資金面では、施設の建設期間に要する費用を民間企業が一時的に立て替え、完成後の維持・管理運営期間に町が分割して支払います。工事等の発注は、性能発注とし、

達成すべき要求水準や性能を規定した上で、手順や方法については受注者側に委ねる方式を採用しました。

町では、PFI事業者として美浜暮らしブランド株式会社を選定。当事業者が施設の設計や建設を行い、今後、維持管理・運営を行っていきます。

これらにより、質の高い公共サービスの提供と町の財政負担の平準化を図っています。



遊具を備え付けた芝生スペース



屋根付きのイベント広場「みはまプラザ」



キッチンカー等の乗り入れが可能な「海の広場」



縦1m、横7mの最大4画面で情報発信ができるデジタルサイネージ

information

所在地 美浜町松原 35-15-1

構造 鉄骨造 2階建て・木造平屋建て

面積 敷地 約 11,800㎡
鉄骨造 2階建て 延べ約 1,800㎡
木造平屋建て 延べ約 460㎡

営業時間 午前 9 時～午後 8 時（店舗により異なります）

定休日 月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）

太陽電池 システム容量：41.25kW
（発電量については、デジタルサイネージで表示）

お問い合わせ先 道の駅若狭美浜はまびより ☎ 47-5850
施設整備に関すること
町土木建築課（担当・竹内） ☎ 32-6707
出店店舗に関すること
町産業政策課産業連携推進室（担当・武田） ☎ 32-6706

詳細はこちら



交通情報等を発信する「情報発信コーナー」

美浜暮らしブランド(株)

道の駅若狭美浜はまびより

オペレーションセンター室長

木澤 瑞季氏



美浜の魅力を町内外に発信していきます

美浜暮らしブランド株式会社は、道の駅若狭美浜はまびよりの設計・建設・管理・運営を目的として設立された特別目的会社（SPC）です。

代表企業である株式会社 fun function は、東京で 8 年前より「福井県美浜町」の名前を冠した居酒屋「熟成魚場 福井県美浜町 日本橋店」をはじめ、美浜をコンセプトとした飲食店を 3 店舗経営しています。

今回、PFI 事業者として選定され、はまびよりの運営をさせていただくこととなりました。

はまびよりでは、「食」を中心とした美浜町の魅力発信と人々が集う交流拠点づくりを目指しています。

食の分野では、美浜の産品を集める農林水産物直売所「みはまの市場」とカフェ「はまカフェ」、食堂居酒屋「メシヤハマビ」、日本酒 bar「51Bar Uragawa」と美浜の食を発信する特色ある店舗が並びます。

交流拠点としては、2 階にイベントスペースやレンタルスタジオ、コワーキングスペースを持つ「idea spot Quick」を配し、起業やアイデアを形にして発信していく場を提供しています。

また、一時預かり専門託児所「せら」は予約なしでも利用でき、気軽にお越しいただけます。

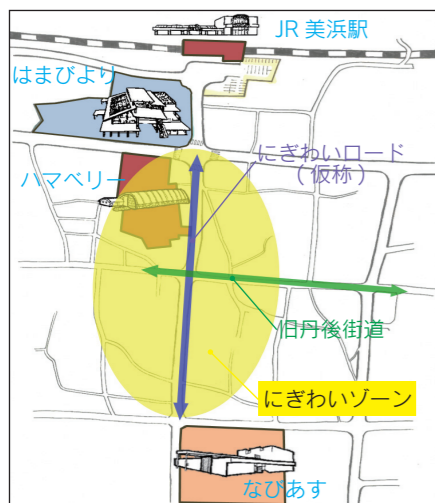
屋外では、芝生スペースや屋根付き広場「みはまプラザ」、テラス席等の開放的なスペースでゆったりと過ごせます。

はまびよりから美浜の魅力をしっかりと発信し、町のゲートウェイとして機能する施設となるよう取り組んでいきます。

～美浜にぎわい創出事業～ まちにシナプスを。

みはまシナプスプロジェクト

※お問い合わせ先
町まちづくり推進課
(担当・大同) ☎ 32-6701



コンセプト

コンセプトワード 「シナプス」

シナプスは、脳を構成する神経細胞のニューロンと次のニューロンをつなぐ接合部で、日常的な学習行動やコミュニケーションによって、刺激を受けて増えていきます。脳は、シナプスが増えることで発達するといわれています。

コンセプトメッセージ 「まちにシナプスを。」

町民や応援人口、美浜に関わりたいと思っている人や企業等との繋がりから生まれるアイデアを起点に、多くの「にぎわい」が創出される姿をニューロン同士が繋がってシナプスを形成し、脳が発達していくさまになぞらえました。繋がり強化がまちに成長をもたらします。

町では、第五次美浜町総合振興計画後期基本計画の優先施策の1つである「にぎわいゾーン整備」について、道の駅若狭美浜はまびよりを核として、JR美浜駅から町生涯学習センターなびあすまでをエリアとした「にぎわい」の創出に取り組んでいます。
令和4年度には「美浜にぎわい創出プロジェクト会議」を立ち上げ、福井大学との共同研究をはじめ、多方面からの分析や有識者からの意見を踏まえ、町が目指す「にぎわい」の姿について検討を重ねてきました。今後は、同会議から導き出されたコンセプト等に沿って、町民をはじめ、美浜に関わりたいと思ってくれる人や企業等、さまざまな関わり合いを通じて得られたアイデアをソフト・ハード事業に取り込み、「美浜らしいにぎわい」の創出に取り組めます。

町が目指す
3つのにぎわいのテーマ

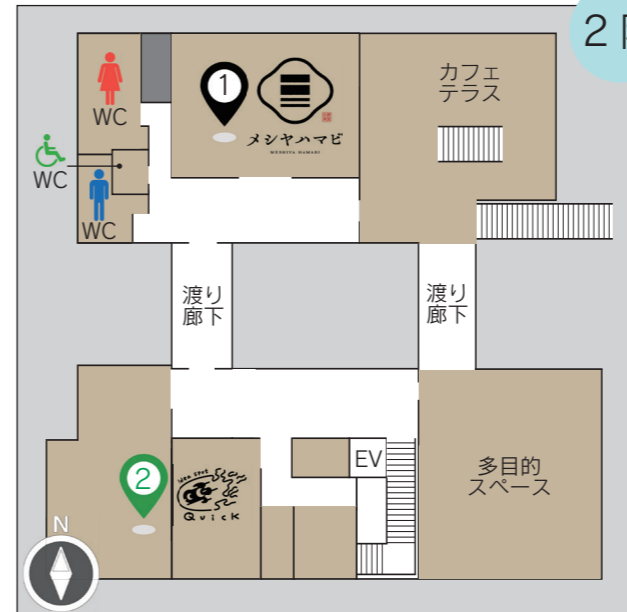
- 空間づくり
～優しい回遊空間を創る～
JR美浜駅からなびあすまでの間で、回遊性に富んだ街並みを形成し、安心感に満ちた場所を創出します。
- コンテンツづくり
～共創の軸線を貫く～
町民や応援人口、企業等がアイデアを出し合い、アクションを起こすことで、たくさんの方の笑顔とにぎわいを生み出します。

今後、町が取り組む内容

町では、令和8年度を目標年度とし、今年度から令和7年度にかけて次の事業を中心に、にぎわいの創出に取り組めます。

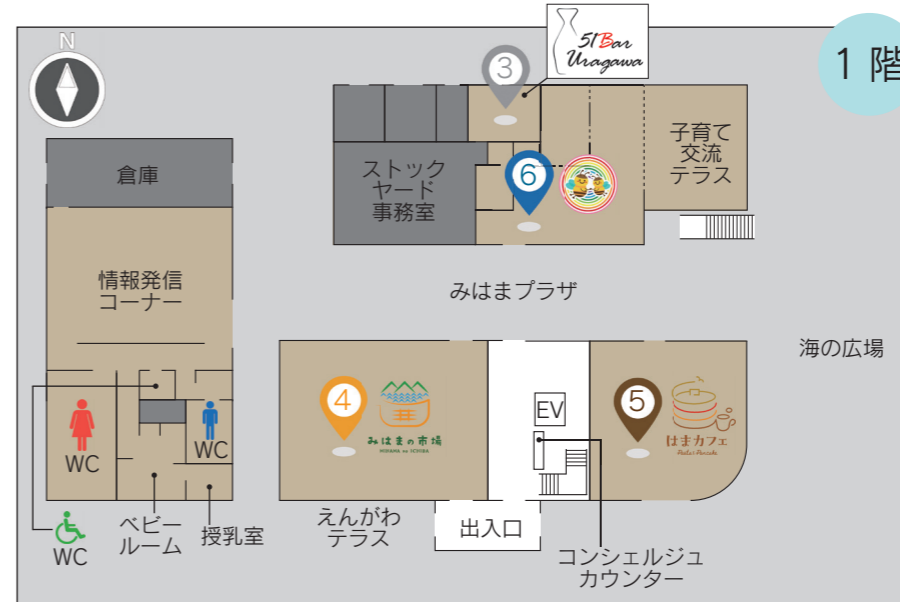
- 学びを軸とした
次世代まちづくり事業
小・中学生が対象の「美浜塾（仮称）や高校生と地域内の大学生が対象の「美浜クラブ（仮称）」、地域外の大学生と社会人が対象の「地域留学プログラム（仮称）」を順次立ち上げ、ふるさと美浜元気づけプロジェクトで出された意見の企画や実行を図ります。また、空家等の活用を視野に入れたアンテナショップやトライアル施設等、学びと挑戦の場を提供します。事業内容の詳細は、次号以降の広報みはま等でお知らせします。

はまびよりを盛り上げる お店を紹介します



美浜の魚や野菜だけではなく、肉料理もご用意。せいろ蒸し以外にも炭火焼きや薫焼き等の調理法にも工夫した定食メニューをご用意しています。

棚貸しスタイルの物販やギャラリー、撮影、ダンス等、さまざまなシーンで使えるスタジオ等が一体となったアイデアを形にできる発信型のスポットです。



おひとりでもグループでも、落ち着いた空間で上質なお酒を楽しむための「美浜初」本格オーセンティックバーです。美浜の銘酒「早瀬浦」もご用意しています。



みはまの生産者さんの想いの詰まった産品を中心に、毎日の食に美味しい！楽しい！を提供します。毎日通いたくなる市場の直売所を目指します。



美浜産米粉をブレンドした自家製生パスタと美浜町のイチゴ等のフルーツを盛り込んだモチモチのパンケーキが楽しめるカジュアルカフェです。



家族の笑顔が増える一時預かり専門託児所です。多様なニーズにお応えできるよう豊富なプランをご用意してお待ちしております。



大塩 友之氏 (65) (佐野)

5月10日に、長年にわたり郵政職員として貢献された功績が称えられ、大塩友之さん(佐野)が瑞宝単光章(郵政業務功労)を受章されました。

同日、総務大臣より勲記勲章の伝達を受け、引き続き皇居へ参内し、天皇陛下に拝謁の栄を賜りました。大塩さんは、昭和52年に郵政職員として採用され、42年間その職務に精励されました。主に、営業業務に従事し、お客様に寄り添った対応や後進の育成に尽力され、郵政事業の発展に寄与されました。

大塩 友之氏 瑞宝単光章を受章

お問い合わせ先 町住民環境課 (担当・武田) ☎32-6703

チョイとソコまで、一緒に 美浜町デマンド交通運行「チョイソコみはま」出発式



↑テープカットをする戸嶋町長(左から3番目)

6月2日に、美浜町デマンド交通運行「チョイソコみはま」の出発式が道の駅若狭美浜はまびよりで行われました。チョイソコみはまは、利用者があらかじめ基本情報を登録し、利用したい乗降場所や時間等を予約することで、エリア内を乗り合いにて目的地まで運行するサービスです。町では、令和8年3月までの期間を実証運行とし、デマンド交通運行が町民や来訪者の移動に与える影響や課題を確認します。運行は2台体制で、1号車が東地区・耳地区・南西郷地区を、2号車が北西郷地区・



↑利用者に乗せて出発する車両(ハイエース)

南西郷地区・耳地区のエリアをカバーします。東地区と北西郷地区を往来する場合はのみ、道の駅若狭美浜はまびよりで乗り継ぎが必要となりますが、予約時にAIが最適なルートを選択するため、利便性の向上が図られています。運行事業の実施に係る費用には、利用者の運賃(200円/1乗車)を充てるほか、地域で公共交通を支えるという考えのもと、スポンサーによる協賛を得ています。今後、町では、デマンド交通運行の本格導入に向け、実証運行で出た影響や課題を確認していきます。

↓レインボーライン山頂公園で「幸せの鐘」を鳴らす園児たち



親子で自然と触れ合おう 保育園行事「親子でおでかけ」

5月18日と25日、26日に、保育園行事「親子でおでかけ」がレインボーライン山頂公園で行われました。この行事は、町内3園の5歳児とその保護者が、地元の良さを知り、親子で自然に触れ合う機会をもつことを目的に、(有)オオギ観光タクシーの協力を得て行われました。参加した親子らは、令和4年3月に工事を終え、一新された山頂公園や360度のパノラマビューを満喫していました。



↑若狭テラスのブランコで遊ぶ園児たち

↓狙いすましたショットを放つ参加者



日々の鍛錬とチームワークで勝ち取る 第36回町民ゲートボール大会

5月28日に、第36回町民ゲートボール大会が西郷健康ひろば屋内運動場で開催されました。大会には、町内15チーム、約80人が参加し、各チームとも一丸となって、連携の取れた元気なプレーを繰り広げていました。大会結果は次のとおりです。優勝 河原市 準優勝 山上B 3位 山上A

↓地元の食材を求めて大勢の人で賑わう会場



美浜の旬がはまびよりに集結 美浜ハートフル朝市が移転

6月4日に、美浜ハートフル朝市が道の駅若狭美浜はまびよりで開催されました。この朝市は、毎年4月から11月の毎週日曜日に水神公園(クタ子)で開催されていましたが、はまびよりの開業に合わせ会場を移転し、今年は12月まで開催されます。移転後初めての開催となった当日は、約100人が訪れ、新鮮な魚介類等を買って求めていました。(関連第25頁)



まちウォッチング watching